

## 医療とコミュニケーション

責任者・コーディネーター	人間科学科文学分野 平林 香織 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科文学分野、神経科学講座		
担当教員	平林 香織 教授、駒野 宏人 教授、平野 順子 非常勤講師、久保田 美恵子 非常勤講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

### ・学習方針（講義概要等）

医療人にとって必要な情報伝達の数々についてさまざまなアクティブラーニングやボディワークを通じて学ぶ。あらゆるコミュニケーションのベースとなる「みること」「きくこと」の多様性について知り、障がいを持った人々との情報交換の有り方も含め医療現場で必要なコミュニケーションの種類とその心構えについて理解できるようにする。

情報を集め、それを分類・理解してしっかりと受け止め、そして、正しく発信するための基本的なことがらを学習する。論理的にわかりやすい表現で自分の考えを伝えるための技術を修得する。また、上級学年において医療面接の手法を学んでいくための準備として、コーチングという対話の仕方について理解を深める。さらに、脳の情報伝達経路と筋肉反射の関係を体感するためのエクササイズを行う。手話の基本を実践的に学び、障がい者との双方向的コミュニケーションのあり方を理解する。

### ・教育成果（アウトカム）

コミュニケーションの多様性と可能性の実態に関する講義内容を整理し、医療人にとって必要なコミュニケーションの種類とそれぞれのコミュニケーションの仕方の留意点を認識する。さまざまなコミュニケーションを実際に行うことによって、コミュニケーションの仕方の違いによる情報伝達内容の変化を認知し、わかりやすく論理的な表現を習慣化する。（ディプロマ・ポリシー：2、3、4）

### ・到達目標（SBO）

- 1、「みること」と「きくこと」の種類とそれぞれの違いを説明することができる。
- 2、医療人にとって必要なコミュニケーションについて基本的なことがらを説明することができる。
- 3、正しくわかりやすく情報を伝達することができる。
- 4、論理的な日本語表現で自分の考えを述べることができる。
- 5、相手の自己肯定感を上げるコミュニケーションのポイントを理解し、実践することができる。
- 6、障がい者のコミュニケーションの実態について理解することができる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/13	木	2	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	<p>みることと情報伝達</p> <p>1.みることの種類とその違いを説明できる。</p> <p>2.みることによって得られる情報とコミュニケーションの関係を理解できる。</p>
4/24	月	5	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	<p>きくことと情報伝達</p> <p>1.きくことの種類とその違いを説明できる。</p> <p>2. きくことによって得られる情報とコミュニケーションの関係を理解できる。</p>
4/27	木	2	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	<p>日本語による情報伝達</p> <p>1.日本語の情報伝達の特徴を説明できる。</p> <p>2.日本語のわかりやすい表現方法のこつを理解できる。</p>
5/11	木	2	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	<p>正確な情報伝達</p> <p>1.医療人にとって必要なコミュニケーションのあり方について考える。</p> <p>2.正しく情報を伝えることができる。</p>
5/18	木	2	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	<p>論理的な情報伝達</p> <p>1.論理的な日本語表現のこつを身につける。</p> <p>2.論理的に自分の考えを述べることができる。</p>
5/25	木	2	人間科学科 文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 平野 順子 非常勤講師	<p>コーチング1：コーチングの概要</p> <p>1.コーチングとティーチングの違いを説明できる。</p> <p>2.コーチングの価値と可能性を理解できる。</p>
6/1	木	2	人間科学科 文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 平野 順子 非常勤講師	<p>コーチング2：相手の話を聴く姿勢</p> <p>1.傾聴することの重要性を理解できる。</p>

					2.傾聴の基本を実践できる。
6/8	木	2	人間科学科 文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 平野 順子 非常勤講師	コーチング3：相手を認めるメッセージ 1.相手を認めることの重要性を理解できる。 2.自己肯定感を高めるメッセージを伝えることができる。
6/15	木	2	人間科学科 文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 平野 順子 非常勤講師	コーチング4：相手の答えを引き出す質問 1.質問の種類を説明できる。 2.答えを引き出す質問をすることができる。
6/22	木	2	人間科学科 文学分野 神経科学講座	平林 香織 教授 駒野 宏人 教授	脳とからだの情報伝達 1 1.自分のからだの声を聴くことができる。 2.脳神経と筋肉の反応の関係を体感できる。
6/29	木	2	人間科学科 文学分野 神経科学講座	平林 香織 教授 駒野 宏人 教授	脳とからだの情報伝達 2 1.からだの可能性について理解できる。 2.自分のからだの声を聴くことと医学との関係について理解できる。
7/6	木	2	人間科学科 文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 久保田 美恵子 非常勤講師	手話1：聴覚障害者のコミュニケーションの実態と手話の構造 1.手話の歴史について理解できる。 2.手話の構造について理解できる。
7/13	木	2	人間科学科 文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 久保田 美恵子 非常勤講師	手話2：手話によるコミュニケーションのポイント 1.手話による自己紹介をすることができる。 2.基本的な手話を読み取ることができる。
7/20	木	2	人間科学科 文学分野 教養教育センター	平林 香織 教授 久保田 美恵子 非常勤講師	手話3：手話による意思疎通の実態 1.手話による意思疎通の実態について理解できる。 2.基本的な手話を使って意思疎通をすることができる。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	日本語表現法改訂版 21世紀を生きる社会人のたしなみ	庄司達也・山岸郁子ほか	翰林書房	2014
参	はじめての手話改訂新版	木村晴美・市田泰弘	生活書院	2014
推	〈文法が基礎からわかる〉日本手話のしくみ	岡典栄・赤堀仁美	大修館書店	2011
教	スタディ・ナビゲーション	人間科学科・附属図書館	岩手医科大学	2016

・成績評価方法

受講態度（20%）、ミニレポート（30%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

・特記事項・その他

ミニ・レポート及びレポートは提出後採点し、コメントを付して返却する。  
事前学習として、講義内容の確認をした上で、トピックに関連する事項をインターネットや図書館で検索し、問題点を抽出しておくこと（およそ30分を要する）。  
講義で身につけたさまざまなコミュニケーションの方法を、実生活や実習の現場で応用する。  
本講義では毎回、さまざまなグループワークを取り入れたアクティブラーニングを行う。「脳と体の対話」の回は体育館の武道場でエクササイズを行いながら学習する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC Panasonic CF-J9	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVDプレーヤー	1	講義資料の提示
講義	BD/DVDプレーヤーLogitech LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示
講義	デスクトップパソコン（DELL Precision T3500カスタマイズ）	1	講義資料の提示